

警報フェロモンによるクモヘリカメムシの防除

クモヘリカメムシの警報フェロモン

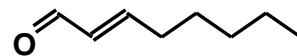
警報フェロモンとは昆虫の行動制御物質の一つ
同種他個体が外敵の存在を仲間の個体に知らせる物質

クモヘリカメムシは網で捕虫した時、興奮しカメムシ臭を放出する。

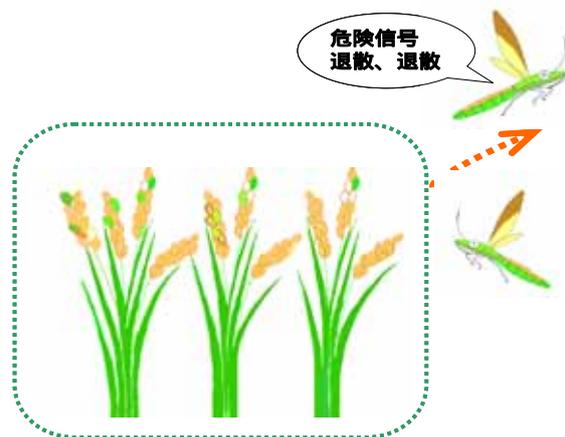
カメムシ臭の薄い場所へ飛び去ろうとする。

警報フェロモンとして6種の物質を特定。

(E)-2-Octenal



炭素8の2重結合2つ持つアルデヒド



(E)-2-Octenalの忌避行動発現

(E)-2-Octenal は特に強い忌避行動を起し、
野外では10倍希釈が有効。

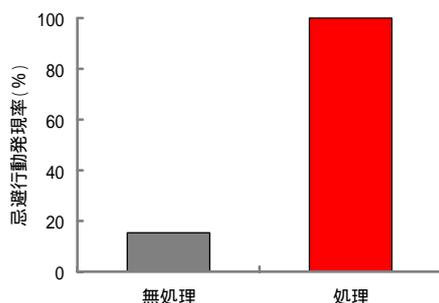
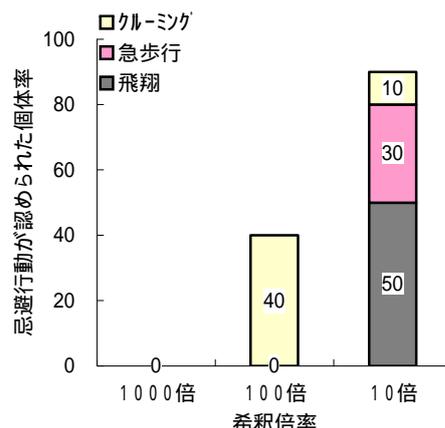


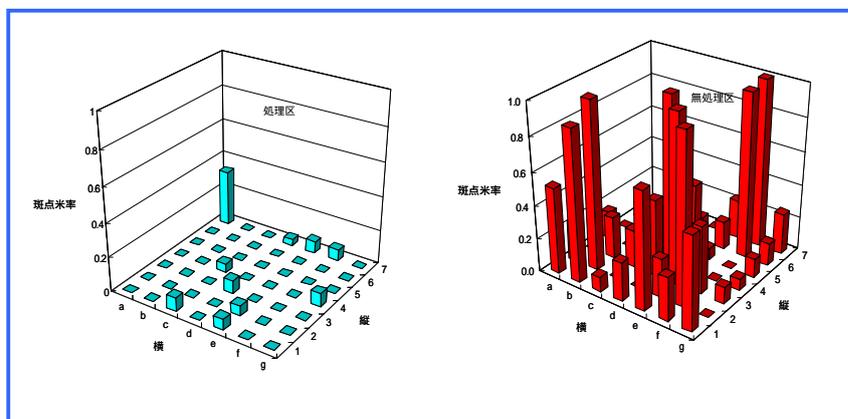
図-1 警報フェロモン物質の1化合物の(E)-2-Octenal 微量処理による忌避行動発現率



第3図 (E)-2-Octenal 10%乳剤の希釈濃度別忌避行動

斑点米抑制効果

2007年 野外ほ場における効果確認において、殺虫剤散布並みに斑点米発生を抑制した。



警報フェロモンを応用したクモヘリカメムシの新しい防除の可能性を確認